

モデルカリキュラム(総合的な学習の時間) 5年

学年	指導時期		総合的な学習の時間			情報活用および学校図書館活用				
	学期	月	単元	めあて・単元目標	学習活動の概要	活用場面・方法	学校図書館資料	他教科との関連		
5	1~2	4~12	米プロジェクト (全38時間)	<p>○米についての学習を通して米に関わる課題をみつけ、地域の人々と関わりながら、友達と協働して課題解決に取り組み、追究したことを発信していくことができる。</p> <p>【問題解決の力】 ○追究したい課題を見つけ、適切な方法を考えながら情報を収集し、友達と協働してまとめ、発表する力。 【自己表現力】 ○課題追究してきたことを分かりやすく発信すると共に、自分たちの生活を見直し、自分自身にもできることを考える力。 【コミュニケーション能力】 ○友達と協力して課題を解決する力 ○地域の人々と関わる中で、自分たちにできることを考え実践しようとする力。</p>	<p>1. 米作りを体験しよう 10時間 【体験学習】 ・地域の方と関わりながら米作りを体験し、米について学習する 種まき見学 田植え体験 機械植え見学 苗の観察 より作り 稲刈り体験 はで干し体験</p>	<p>【個別・一斉学習】 ・体験学習を通して米について学び、課題解決への見通しをもつ。 ・地域の方から必要な情報を得る。</p>		<p>社会科 「私たちの生活と食糧生産」 「米づくりのさかんな地域」 理科 「植物の発芽と成長」 道徳 ・自然愛、環境保全 「もったいない」</p>		
					<p>2. 米プロジェクト①～米の未来を考えよう～ 15時間 ・図書資料やいろいろな立場の人(農家、JA、市役所)から話を聞き、米を取り巻く課題と対策について知り、調べ学習の課題を設定する。【課題設定】 ・課題別グループで調べ学習を進める。【情報の収集】 ・集めた情報を整理し、まとめに使う情報を選ぶ。【情報の整理・分析】 ・調べて分かったこと、伝えたいことをまとめて中間発表をする。【情報のまとめ発信】</p>	<p>【個別・一斉学習】 ・田んぼや稲、米作りに関わる本のブックトークを聞き、並行読書を行う。 ・いろいろな立場の人から話を聞く。 ・思考ツールを使い課題をしぼる。 【協働学習】 ・課題別グループになり、思考ツールを使いながら課題についての意見を出し合う。 【個別・協働学習】 ・図書資料やインタビューなどで情報を集める。 【協働学習】 ・情報カードを取捨選択して伝える内容を選び、発表資料をまとめる。 【一斉学習】 まとめたものを発表し合う。</p>	<p>◆選書、ブックトーク ◆調べ学習を支える図書資料 ◆年鑑等の使い方 ◆思考ツール(マンダラシート、ペンタゴンチャート) ◆情報カード ◆エクスチャート ◆フリップボード</p>		<p>国語 「資料を生かして考えたことを書こう」</p>	
					<p>3. 米プロジェクト② ～収穫祭をひらこう～ 7時間 ・収穫祭で、自分たちの学びと感謝の気持ちが表せるように計画を立てる。 ・収穫祭で発表する準備をする。 ・収穫祭を開催する。 【情報のまとめ発信】</p>	<p>【協働学習】 ・グループごとに発表の確認をする。 ・役割を決め、準備する。 【一斉学習】 まとめたものを発表し、地域の方から感想やアドバイスをもらう。</p>	<p>◆調べ学習を支える図書資料</p>			<p>家庭科 「ご飯とみそ汁を作ろう」</p>
					<p>4. 学びを振り返ろう 2時間 ・米プロジェクトを振り返る。 ・お世話になった方へお礼状を書く。 【振り返り】</p>	<p>【個別学習】 ・学習の振り返りをし、共有することで、米の未来や自分自身の成長についてふりかえる。 【協働学習】 ・互いの学習を評価し合い、友達のよさに気づく</p>	<p>◆調べ学習を支える図書資料 ◆手紙の書き方</p>			